

New Creation Church in Kyoto since 1997

Miracles



2020年1月1日 元日号

ヴィジョン化！

主管牧師 藤林イザヤ

新年明けましておめでとうございます！！

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

2020年は、いよいよ夢をヴィジョンとして明確化し、使命として結晶させていく年になります。この数年間、神様が種として下さった夢が、幾つかありました。

フィリピンのマニラで、メトロミニストリーという働きが、20年に渡って繰り広げられてきました。2017年2月から、長男がその働きに参画して、インターンとして働かせて頂いたのです。マニラから少し北に行ったところに、トンド地区があり、そこに巨大なスラム街が広がっています。ここで、15箇所を渡って、毎週、毎週、日曜学校がなされてきました。その中で、学校に行けなかった子たちが、里親を通して資金を頂き、学校に通うようになりました。そうして、4千名もの子どもたちが、学校に通っています。その子たちを、毎週訪問し、お金を渡し、励まし、通い続けさせる……というケアを、なさっています。

このような働きが、15年にも渡って続けて来られました。長男が関わらせて頂いたことが機縁となり、この子どもたちに対して、何か出来ることはないだろうか？ということ、ずっと考えるようになりました。そこで与えられたのが、次の様な「夢」でした。それはこの子どもたちの中から、「将来、日本語を学び、日本で仕事に就いていく人たちを、生み出したい！！」というものです。

フィリピンから既に数多くの方々が、日本に働きにいらしています。そして日本でお仕事をなさっているのですが、その多くは、いわゆる水商売から入る、という方でした。残念なことですが、こういう方々の日本語は余り習熟していきません。もちろん簡単な会話はできますが、どちらかという、容姿で稼ぐ、ということになってしまうのです。でも、いつまでも若くはありません。日本人の男性と結婚していたとしても、結果的には、ポイツと捨てられてしまう……ということも、起こります。悲しいことですが、現実です。

しかし、日本語を学び、習熟した上で来日したらどうでしょうか？状況は、全然変わっていくのです。そうです。水商売ではなく、色んな仕事に就くことができます。就労の可能性は、格段に広がるのです。

フィリピンの方々は、大変家族思いです。ですので、日本で働いて稼げましたら、確実に仕送りをするでしょう。する

と……！！スラムの方々でしたら、そのお金で、1人の仕送りによって、20名くらいの人たちが、スラム街から出ることができるようになる……そうです。一人が日本で働けると、20倍の人たちがスラムから解放されるのです。凄いです。

夢が与えられました。もし、「1000名」もの人たちが、日本で働いて、スラム街の家族を支援したら、「2万人」もの人が、スラム街を脱出することができる……！？のです。もちろん、まだ単なる「夢」です。でも、心が躍るような「夢」ではありませんか。何十棟と立ち並んでいる廃屋のようなビルディングがあります。その幾つかが空っぽになるでしょう。

考えているだけで、ワクワクしてきました。そして、この2年余りですが、ずっと祈り、考えてきました。すると……長男がフィリピンの大学で学ぶようになりました。長女も同じく、フィリピンの大学院で学び始めました。

家内にも神様は働いて下さっていました。私の知らないうちに、日本語教師の資格を取得するために、学んでいたのです。お恥ずかしながら、夫婦の会話では、全く話も何も出ていなかったのですが……。将来は、フィリピンとかアジアの外国に、日本語学校を建てたい！という「夢」を抱くようになった……そうです。これはビックリ！？でした。

2012年11月のことでした。ちょうど、加瀬宣雄師と一緒に韓国のオサンリ祈禱院で祈っていた時でした。近藤義和

兄が携帯に電話をかけて来られました。帰国して話を伺いましたら、そこから、障害者支援の事業としての、『おおきにクリーンサービス』が始まって行きました。手がけている働きの中から、本当に取り組むべき事業が生まれていきます。

「夢」は素晴らしいです。ワクワクする思いを抱くからです。ワクワクしないと、取り組んで行く価値はありません。いや、推進して行こうというエネルギーが出てきません。

しかし、いつまでも「夢」で置いておけません。

2020年のことを祈っておりました時に、踏み出す時が来た！ということ、深く感じました。そうです。いよいよ、「夢」から、「ヴィジョン」にする段階です。さらに、それが現実に動き始めたら、そうです。人生を賭けて取り組んで行く「使命！」となるからです。

2020年は、

「夢」→「ヴィジョン」→「使命」

へと進めていく、大きなステップになるでしょう。これは京都中央チャペルにとっても、海外との連携が深まっていく中で、神様が下さったヴィジョンとして、さらには、果たして行くべき使命として、祈っていきたいと思います。

これはおそらくは、神様のご計画のほんの一端です。一端ではあっても、2020年は、その端緒をつけていく年になるのです。とっても楽しみになりました。

京都中央チャペルの営みでも、私の年齢としても、これからの10年は貴重です。今年は、宗教法人格も取得します。京都中央チャペルの闊達な働きが、独自の味わいを出しつつ、ドンドン進められていく基盤が備わってきます。

ずっと祈っています「グループホーム」も、今年はヴィジョン化します。そこから、実際にどうしていくのか？という事業化が始まります。障害者の方々の、生涯にわたる人生基盤ができるからです。ちょっと考えていても楽しみです。きっと、対象は、障害者はもちろんですが、高齢者の方々についても、広がって行くことになるでしょう。

それに伴い、これまた、数年前から祈ってきている「訪問看護ステーション」もヴィジョン化し始めます。地域医療と実際的なケアというものが、いよいよ必要とされる流れが、生じています。その一端を、京都中央チャペルの働きが担えるなら、こんなに素敵なことはありません。

祈ってきたことが、2020年には、具体的に開かれていくことになると思います。楽しみです。

英語教育も、より一層、色んなヴァリエーションが与えられるでしょう。特に、フィリピンでの集中トレーニングの成果は大きいので、今年は拡充できればよいなあと、楽しみにしています。さあ「夢」がヴィジョン化していく、恵みの2020年をご一緒に踏み出しましょう！

藤林波映

愛する兄姉のみなさまと共に、新しい年を迎えることのできる恵みを心から感謝いたします。2020年にも主に期待して一步一步を踏み出します。天地万物を造り、私たち一人一人をかけがえのない存在としてお造りくださった主が、どれほど偉大なお方で、どれほど深く私たちを愛してくださっているのかを知る旅を、新たな年も主が導いてくださいます。主に祈り、主の語りかけにアーメンと応答し、主の素晴らしさを証する人生を歩ませていただきたいと思います。愛するお一人ひとりに主が大いなる恵みを現され、主の証人として豊かにお用いなさることを信じて、祝福を心からお祈り致します。

5 あなたの輝き、栄光と威光、驚くべき御業の数々をわたしは歌います。6 人々が恐るべき御力について語りますように。大きな御業をわたしは数え上げます。7 人々が深い御恵みを語り継いで記念とし、救いの御業を喜び歌いますように。8 主は恵みに富み、憐れみ深く、忍耐強く、慈しみに満ちておられます。9 主はすべてのものに恵みを与え、造られたすべてのものを憐れんでくださいます。10 主よ、造られたものがすべて、あなたに感謝し、あなたの慈しみに生きる人があなたをたたえ、11 あなたの主権の栄光を告げ、力強い御業について語りますように。12 その力強い御業と栄光を、主権の輝きを、人の子らに示しますように。(詩篇 145:5-12)

藤林コト

明けましておめでとうございます！

昨年末の不慮の災難で目下入院中でございます。背後のお祈りに感謝しつつ。皆様にとって善き2020年であります様に。

2019年1月1日(祝) 元旦礼拝 11時

主題『喜び溢れる!』

説教者：藤林イザヤ

聖書箇所

ヨハネの手紙一 1.1-2

1 初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見えたもの、よく見て、手で触れたものを伝えます。すなわち、命の言について。――

2 この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです。――

《ヨハネの実感の伴う命体験!》

ヨハネは、最初からあったもの、と語って、ヨハネ伝冒頭部を想起!

→聞いたもの、見ていたもの、しげしげと手に取り触れたもの!

⇒命の言であり、永遠の命が現れ、それを今伝えようとしている!

ヨハネの手紙一1.3-4

3 わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子

イエス・キリストとの交わりです。

4 わたしたちがこれらのことを書くのは、わたしたちの喜びが満ちあられるようになるためです。

《交わりに流れるエキス!》

見聞きしたことを伝える事で、互いの交わりが始まって行く!

→わたしたちの交わりとは、御父と御子キリストとの交わりである!

⇒この交わりに加わってくる時に、喜びが増し加えられていく!

(メッセージ・ポイント)

① 神の生きておられることを

() しよう!

C f) ルカ伝24.39

39 わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある」

② () に満ちた

1 年を過ごそう！

C ㊦ フィリピ書1.4

4 あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。

今井直喜

主の御名を賛美します。2020年も愛する皆様と迎えることができ、心から感謝致します。

『わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。』（エレミア書 29 章 11 節）

今年も、神様の平和の計画を歩めることを感謝します。どんな一年になるのかワクワクしながら歩みたいと思います。

『こうして、わたしたちは、もはや未熟な者ではなくなり、人々を誤りに導こうとする悪賢い人間の、風のように変わりやすい教えに、もてあそばれたり、引き回されたりすることなく、むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、頭であるキリストに向かって成長していきます。』（エフェソ 4 : 14-15）

また、愛する兄弟と共に、神様によって成長させられる一年でありたいです。目の前の出来事や世間に翻弄させれることなく、大切な神様への信仰に根ざして、与えられた使命を全うする者となりたいです。

皆様の新しい日々が、神様の愛と平和で満たされますように。
今年もどうぞ、よろしくお願い致します。

今井久美子

明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

神様は、素晴らしいお方です。京都中央チャペルを、愛する兄弟を、神様はとてつもない愛をもって、導いて下さっていることを知ります。2019年もたっぷりとそのことを味わうことができました。今年もどんな年になるのかとても楽しみです。

『わたしは七人の顧問官と共にあなたに次の使命を託す。』（エズラ7章14節a)

2020年、私達に託されている使命をしっかり握り、その使命に必要な力を求め、その使命を全うしていきたいです。それは何も特別なことだけではありません。家庭の中にあっても、職場や学校生活の中にあっても、それぞれに託されている使命があります。どんな場面でも、その時その時に果たすべきことを丁寧になしていく者になりたいです。その日々の積み重ねは、やがて大きな神様のご計画が明らかになる時へと導いて下さるのです。

今年は、ミラクワ設立二十周年の記念すべき年です。そんな時にミラクワの一員でいられることをとても光栄に思います。京都ミラクルズクワイア。神様の奇跡を語らずにはいられない者達。そんなメンバーの集まりとなって欲しいと設立されたクワイア。二十年という歴史の中で、様々なことがありました。始めは、教会のイースター礼拝での賛美でした。時に、洛都祭にて、アメリカのクライストチャーチのクワイアと共にゴスペルを賛美したこともありました。けれど、そんな楽しい嬉しいことばかりではありませんでした。悲しいつらい出来事もたくさんありました。それでも、神様は二十年間ミラクワを愛して導いて下さったのです。また、数年前より、愛を体現するクワイアとして、ミラクワは活

動しております。一人一人の個性を大切にしながら、お互い尊重し合っ
て歩んでおります。そんな中でも、昨年私たちの中核を担ってくれてい
た大切な仲間が活動をお休みされ、メンバーみんながつらい思いをしま
した。さあ、これからどのようにしていこうか。知恵が必要でした。神
様に祈りました。『シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げ
ると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれ
たのに、網は破れていなかった。』（ヨハネ 21 章 11 節）神様の御言葉
通りにすると、恵みは溢れ、しかも網も破れていなかったというこの御
言葉に励まさせ、手探りでの練習が始まりました。もちろん、みんな
で支え合いながら。神様は新しいメンバーを加えて下さり、新しい出会
いも与えて下さり、ミワクワの活動を前進させて下さいました。新しいミ
ラクワとして歩み出したのです。昨年 12 月のクリスマスライブでは、
メンバー全員でゴスペルを楽しむことができました。病のために一緒に
祈ります。事業の成功のために一緒に祈ります。フレンズの方々から祈
って欲しいとリクエストを頂きます。ああ、なんて素敵な仲間なのでし
ょう。なんて素敵なクワイアなんでしょう。全て素晴らしい神様の御業
だなあと感動です。今年のミラクワは、どんなクワイアになるのでしょ
うか。神様に期待して、歩んで参ります。

愛する京都中央チャペルの兄姉の 2020 年も、その素晴らしい神様
に愛され、守られ、導かれていることを日々実感する一年となりますよ
うに。

加瀬宣雄

Happy New Year! (b^▽^)!!!

明けまして、おめでとうございます!

『わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内にあるものは こぞって聖なる御名をたたえよ』(詩編 103.1)

Hallelujah! 今、私の魂は、主を賛美する思いで もう溢れかえっております!!

...と書いたものの、実は、これを書いているのは、まだ 2019 年でございます(笑)「まだ先のことを、今の事のように書いて、けしから〜ん!」と思われたかもしれません(笑)。

しか〜し、1年の始めをですよ。主を賛美していない筈がないではありませんか。必ず、絶対に、間違いなく! 私は主を喜び、誉め讃えています。大いなる主、賛美を受けるべきお方を、新しい1年を造って下さり、生かして下さる主を敬い、讃えずにはいられない思いでいっぱいです!!

そして、この喜びを、この様に、愛する皆様とご一緒できることが、本当に、本当に、感謝、感謝でございます!!

一箇所、聖書を開きます。詩編 37 編 3-6 節です。

『3 主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、信仰を糧とせよ。4 主に自らをゆだねよ／主はあなたの心の願いをかなえてくださる。5 あなたの道を主にまかせよ。信頼せよ、主は計らい 6 あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを／真昼の光のように輝かせてくださる。』

さて、愛する兄弟姉妹は、この 2020 年を、どのように歩もうとお考

えでしょうか？勿論、皆様には、それぞれの目標やビジョン・願い、目標がお有りの事でしょう。それにですね、是非、『主に、全幅の信頼を寄せる1年とする』。...これを、お加え頂けませんか。御言葉にあるように、信仰を糧とし、いかなる時も善を行い、主の前に正しく歩む一年となさって下さい。

するとです。弛まず善を行う者を愛される神様は、ご自分の前に正しく歩む者を、そう、あなたを、真昼の光のように輝かせて下さいます！

神様に全幅の信頼を寄せ歩む1年には、イエス様がおられます。主を信頼して歩む道のりには、昼は雲の柱・夜は火の柱が立ちます。そう、私たちは、みんなで一緒に、神様が与えて下さる肥沃な大地に向かうのです。そして、その地を踏むことが出来るのです！驚くような癒しや回復、お仕事の繁栄、経済の満たし、人間関係の祝福、家族や知人の救い、問題の解決、目標達成などなど...私たちは、これらを余すことなく戴くこととなります！この2020年に、これらを体験するのです！

『主を信頼する』。これが、神の祝福を頂く旅路をご一緒するための『パスポート』です。

さあ、新しい1年が始まりました。ワクワクしますね～。楽しみですですね～。素晴らしい神様の恵みが、皆さんの目の前に豊かに広がっています。さあ、主に全幅の信頼・パスポートを持って(笑)、新しい1年に出発しましょう！神様の恵みに、みんなで一緒に飛び込もうではありませんか！Hallelujah～！！

大いなる祝福が、愛する皆様に、豊かに豊かにありますように♪
祈りつつ。加瀬宣雄

★今週の予定

- ・2日(木) BLD 祈祷会はお休みとなります！
- ・1日午後から4日までアバハウスは閉館となります。
- ・5日(日) 年頭聖日礼拝 アバ2階 11:00-

★礼拝のご案内

日曜日	CSK (幼稚科・小学科)	9:30-	アバハウス4階
	New Creation Seminar	9:30-	アバハウス3階
	聖日礼拝	11:00-	アバハウス1・2・3階
	手話礼拝	11:00-	アバハウス3階(第三週目)
	支援礼拝	13:30-	アバハウス2階

木曜祈祷会 19:30- アバハウス2階

京都中央チャペル (αββα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

E-mail: admin@chuochapel.com <http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル